

令和3年度 看護学研究科博士前期課程 カリキュラムマップ

区分	ディプロマ・ポリシー & 学修成果指標 ○=学修成果の修得のために重要な科目 ◎は科目ごとに2~3個つけてください	【DP1】個人—家族—地域を多角的、複眼的視点で捉え、看護専門領域に関する理論、関連領域の知識・技術、高い倫理観を基盤として、エビデンスに基づく高度な看護ができる能力を有している。	【DP2】地域社会や生活環境の中で、人々が自立して健康生活を営むことができるように、地域の人々と協働して、健康を促進する地域文化の形成、発展に貢献する能力を有している	【DP3】社会のニーズや健康に関する課題に積極的に関与し、他の職種の専門性を尊重した上で協働しながら社会状況に対応する方略を開発する能力を有している	【DP4】学際的視点をふまえて看護実践の場、教育や政策の場で看護現象を研究的視点でとらえ、倫理的思考力、リーダーシップとマネジメント力を発揮して変革者として貢献する能力を有している	【DP5】看護実践を支える科学的・哲学的基盤を理解し、看護研究・看護教育を通して、看護学の体系化とその発展に貢献できる教育—研究能力を有している	【DP6】国際的動向や多様な文化に関する幅広い知識や最新の情報を備えて、看護をグローバルな視点から捉え、看護の普遍性の追及と体系化に貢献できる能力を有している	
大学院 共通科目	研究と倫理				○	○		
	教育学特論				○	○		
	教育心理学特論				○	○		
	ジェンダー論				○		○	
	臨床倫理	○	○		○			
	グローバルヘルス論				○		○	
	ケア論			○	○	○		
	看護マネジメント論			○	○			
	共通科目	看護理論と実践				○	○	
		看護学基盤論				○	○	
		看護研究と実践				○		
		看護倫理	○	○		○	○	
		看護サービス管理論			○	○		
		看護コンサルテーション論	○	○	○			
フィジカルアセスメント特論					○	○		
病態生理学					○	○		
臨床薬理学		○		○				
こころの発達		○	○					
データ分析方法論 I					○	○		
看護教育論 I			○		○	○		
看護教育論 II				○	○	○	○	
看護教育学専門演習		○		○	○			
看護教育学研究方法 I						○	○	
看護教育学研究方法 II						○	○	
疫学研究方法論		○	○					
保健医療政策と経済 I			○	○			○	
保健医療政策と経済 II			○	○			○	
看護学の動向と展望		○	○			○		
最新専門看護実践講座 I								
最新専門看護実践講座 II								
インディペンデントスタディ			○			○		
共創看護学領域	看護理論と研究 I					○		
	看護理論と研究 II					○		
	学際的研究方法				○		○	
	データ分析方法論 II		○			○		
	看護学英語					○	○	
	共創看護学セミナー					○		
	バイオメトリクス看護学演習					○		
	看護学研究方法 I A					○		
	看護学研究方法 I B					○		
	看護学研究方法 II A					○		
	看護学研究方法 II B					○		
	がん看護学領域	がん看護論	○				○	○
		緩和ケア特論	○	○	○			
がん看護方法論 I		○	○		○			
がん看護方法論 II		○				○	○	
がん看護方法論 III		○	○	○				
がん病態生理学		○			○	○		
がん診断治療学		○			○	○		
がん薬理学		○	○		○			
がん看護課題研究					○	○	○	
がん看護学実践演習 I		○	○	○	○		○	
がん看護学実践演習 II			○	○		○		

令和3年度 看護学研究科博士前期課程 カリキュラムマップ

区分	ディプロマ・ポリシー & 学修成果指標 ○=学修成果の修得のために重要な科目 ◎は科目ごとに2~3個つけてください	【DP1】個人—家族—地域を多角的、複眼的視点で捉え、看護専門領域に関する理論、関連領域の知識・技術、高い倫理観を基盤として、エビデンスに基づく高度な看護ができる能力を有している。	【DP2】地域社会や生活環境の中で、人々が自立して健康生活を営むことができるように、地域の人々と協働して、健康を促進する地域文化の形成、発展に貢献する能力を有している	【DP3】社会のニーズや健康に関する課題に積極的に関与し、他の職種の専門性を尊重した上で協働しながら社会状況に対応する方略を開発する能力を有している	【DP4】学際的視点をふまえて看護実践の場、教育や政策の場で看護現象を研究的視点でとらえ、倫理的思考力、リーダーシップとマネジメント力を発揮して変革者として貢献する能力を有している	【DP5】看護実践を支える科学的・哲学的基盤を理解し、看護研究・看護教育を通して、看護学の体系化とその発展に貢献できる教育—研究能力を有している	【DP6】国際的動向や多様な文化に関する幅広い知識や最新の情報を備えて、看護をグローバルな視点から捉え、看護の普遍性の追及と体系化に貢献できる能力を有している
	がん看護学実践演習Ⅲ		○	○	○		
	がん看護学実践演習Ⅳ	○		○	○		
	がん看護学実践演習Ⅴ	○		○	○		
慢性看護学領域	慢性看護論		○			○	○
	慢性看護対象論	○	○			○	
	慢性看護方法論Ⅰ	○		○			○
	慢性看護方法論Ⅱ	○		○	○		○
	慢性疾患診断治療学Ⅰ	○	○				
	慢性疾患診断治療学Ⅱ	○	○				
	慢性看護課題研究	○				○	○
	慢性看護学実践演習Ⅰ	○	○	○			
	慢性看護学実践演習Ⅱ	○	○	○	○		
	慢性看護学実践演習Ⅲ	○	○	○	○		
	慢性看護学実践演習Ⅳ	○	○	○			
	慢性看護学実践演習Ⅴ	○	○	○			
成人看護学研究方法Ⅰ					○	○	
成人看護学研究方法Ⅱ					○	○	
クリティカルケア看護学領域	クリティカルケア看護論Ⅰ	○	○			○	
	クリティカルケア看護論Ⅱ	○	○		○		
	クリティカルケア看護方法論Ⅰ	○	○				
	クリティカルケア看護方法論Ⅱ	○		○	○		
	クリティカルケア看護方法論Ⅲ		○		○		
	クリティカルケア看護方法論Ⅳ		○	○		○	
	クリティカルケア診断治療学Ⅰ	○		○			
	クリティカルケア診断治療学Ⅱ	○		○			
	クリティカル看護課題研究				○	○	○
	クリティカルケア看護学実践演習Ⅰ	○	○	○			
	クリティカルケア看護学実践演習Ⅱ		○	○	○		
	クリティカルケア看護学実践演習Ⅲ	○	○	○			
クリティカルケア看護学実践演習Ⅳ	○		○				
クリティカルケア看護学実践演習Ⅴ	○			○		○	
母性看護学領域	女性健康看護論	○					
	女性健康支援論	○					
	子育て包括ケアシステム論	○		○			
	女性の健康危機マネジメント論	○			○		
	母性看護フィールド演習Ⅰ					○	
	母性看護フィールド演習Ⅱ					○	
	母性看護学研究方法Ⅰ					○	
母性看護学研究方法Ⅱ					○		
小児看護学領域	小児看護論	○				○	○
	小児看護対象論	○	○				
	小児看護方法論Ⅰ	○		○	○		
	小児看護方法論Ⅱ			○	○	○	
	小児診断治療学Ⅰ	○	○				
	小児診断治療学Ⅱ	○	○				
	小児看護課題研究			○		○	
	小児看護学実践演習Ⅰ	○	○	○			
	小児看護学実践演習Ⅱ		○	○	○		
	小児看護学実践演習Ⅲ			○	○	○	
	小児看護学実践演習Ⅳ	○		○			
小児看護学実践演習Ⅴ		○		○	○		
小児看護学研究方法Ⅰ					○	○	

令和3年度 看護学研究科博士前期課程 カリキュラムマップ

区分	ディプロマ・ポリシー & 学修成果指標 ○=学修成果の修得のために重要な科目 ○は科目ごとに2~3個つけてください	【DP1】個人—家族—地域を多角的、複眼的視点で捉え、看護専門領域に関する理論、関連領域の知識・技術、高い倫理観を基盤として、エビデンスに基づく高度な看護ができる能力を有している。	【DP2】地域社会や生活環境の中で、人々が自立して健康生活を営むことができるように、地域の人々と協働して、健康を促進する地域文化の形成、発展に貢献する能力を有している	【DP3】社会のニーズや健康に関する課題に積極的に関与し、他の職種の専門性を尊重した上で協働しながら社会状況に対応する方略を開発する能力を有している	【DP4】学際的視点をふまえて看護実践の場、教育や政策の場で看護現象を研究的視点でとらえ、倫理的思考力、リーダーシップとマネジメント力を発揮して変革者として貢献する能力を有している	【DP5】看護実践を支える科学的・哲学的基盤を理解し、看護研究・看護教育を通して、看護学の体系化とその発展に貢献できる教育—研究能力を有している	【DP6】国際的動向や多様な文化に関する幅広い知識や最新の情報を備えて、看護をグローバルな視点から捉え、看護の普遍性の追及と体系化に貢献できる能力を有している
領域専門科目	小児看護学研究方法Ⅱ	○				○	
	老人看護論	○				○	○
	老人看護対象論	○	○				○
	老人看護方法論	○				○	
	老人ケアシステム論		○	○	○		
	老人看護展開論Ⅰ	○					
	老人看護展開論Ⅱ	○					
	老年病診断治療学Ⅰ	○			○		
	老年病診断治療学Ⅱ	○			○		
	老人看護課題研究		○			○	○
	老人看護学実践演習Ⅰ	○					
	老人看護学実践演習Ⅱ	○				○	
	老人看護学実践演習Ⅲ	○	○				
	老人看護学実践演習Ⅳ	○	○	○	○		
	老人看護学実践演習Ⅴ	○	○	○	○	○	
領域専門科目	精神看護論	○		○	○		
	精神看護対象論	○				○	
	精神看護方法論Ⅰ	○		○			
	精神看護方法論Ⅱ	○	○	○			
	精神看護展開論Ⅰ	○		○	○		
	精神看護展開論Ⅱ	○		○	○		
	精神看護展開論Ⅲ	○		○	○		
	精神看護展開論Ⅳ	○		○	○		
	精神診断治療学Ⅰ	○	○				
	精神診断治療学Ⅱ	○	○				
	精神看護課題研究					○	○
	精神看護学実践演習Ⅰ	○	○		○		
	精神看護学実践演習Ⅱ	○	○		○		
	精神看護学実践演習Ⅲ	○		○	○		
	精神看護学実践演習Ⅳ	○		○	○		
精神看護学実践演習Ⅴ	○			○		○	
領域専門科目	家族看護論	○		○			○
	家族看護対象論	○	○				
	家族看護方法論Ⅰ	○				○	
	家族看護方法論Ⅱ	○	○				
	家族看護実践論Ⅰ	○	○				
	家族看護実践論Ⅱ	○	○				
	家族療法	○			○		
	家族ケアの開発	○	○		○		
	家族看護課題研究					○	○
	家族看護学実践演習Ⅰ	○		○			
	家族看護学実践演習Ⅱ	○			○		
	家族看護学実践演習Ⅲ	○		○	○		
	家族看護学実践演習Ⅳ	○	○	○			
	家族看護学実践演習Ⅴ	○			○		
	家族看護学研究方法Ⅰ					○	
家族看護学研究方法Ⅱ					○		
在宅看護論	在宅看護論	○				○	○
	在宅看護方法論Ⅰ	○	○				
	在宅看護方法論Ⅱ	○	○	○			
	在宅看護方法論Ⅲ			○	○		
	在宅ケアシステム論			○	○		○

令和3年度 看護学研究科博士前期課程 カリキュラムマップ

区分	ディプロマ・ポリシー & 学修成果指標 ○=学修成果の修得のために重要な科目 ◎は科目ごとに2~3個つけてください	【DP1】個人—家族—地域を多角的、複眼的視点で捉え、看護専門領域に関する理論、関連領域の知識・技術、高い倫理観を基盤として、エビデンスに基づく高度な看護ができる能力を有している。	【DP2】地域社会や生活環境の中で、人々が自立して健康生活を営むことができるように、地域の人々と協働して、健康を促進する地域文化の形成、発展に貢献する能力を有している	【DP3】社会のニーズや健康に関する課題に積極的に関与し、他の職種の専門性を尊重した上で協働しながら社会状況に対応する方略を開発する能力を有している	【DP4】学際的視点をふまえて看護実践の場、教育や政策の場で看護現象を研究的視点でとらえ、倫理的思考力、リーダーシップとマネジメント力を発揮して変革者として貢献する能力を有している	【DP5】看護実践を支える科学的・哲学的基盤を理解し、看護研究・看護教育を通して、看護学の体系化とその発展に貢献できる教育—研究能力を有している	【DP6】国際的動向や多様な文化に関する幅広い知識や最新の情報を備えて、看護をグローバルな視点から捉え、看護の普遍性の追及と体系化に貢献できる能力を有している
在宅看護学領域	在宅看護展開論 I	○	○	○			
	在宅看護展開論 II	○	○	○			
	在宅療養診断治療学 I	○	○				
	在宅療養診断治療学 II	○	○				
	在宅看護課題研究					○	○
	在宅看護学実践演習 I	○	○			○	
	在宅看護学実践演習 II	○	○	○			
	在宅看護学実践演習 III	○			○		
	在宅看護学実践演習 IV	○					
在宅看護学実践演習 V	○		○	○			
地域看護学領域	地域看護論	○			○		
	地域ケアシステム論		○	○			
	地域看護展開論		○	○	○		
	地域看護課題研究					○	
	地域フィールド演習 I			○		○	
	地域フィールド演習 II					○	
	地域看護学研究方法 I					○	
地域看護学研究方法 II					○		
災害・国際看護学領域	災害看護論	○	○			○	
	グローバル社会看護論	○	○				○
	災害・国際看護方法論	○				○	
	感染症看護セミナー		○				
	環境衛生看護セミナー		○				○
	共生社会看護セミナー		○	○			○
	人道支援看護セミナー			○			○
	災害看護管理セミナー			○			
	災害看護活動論(準備期)	○			○		
	環境防災学		○		○		
災害・国際看護学研究方法 I					○		
災害・国際看護学研究方法 II					○		
看護管理学領域	看護管理論			○	○		
	システム経営管理論		○	○	○		
	看護管理展開論	○		○	○		
	看護管理の動向と展望			○	○		
	看護管理課題研究			○	○	○	
	看護管理学実践演習 I	○		○	○		
	看護管理学実践演習 II	○		○	○		
	看護管理学実践演習 III	○		○	○		
	看護管理学研究方法 I			○	○	○	
看護管理学研究方法 II			○	○	○		
臨床看護学領域	精神看護ケア研究	○				○	
	老人看護ケア研究	○	○	○			
	がん看護ケア研究	○				○	
	小児看護ケア研究	○		○		○	
	慢性看護ケア研究	○	○			○	
	クリティカルケア研究	○				○	
	臨床看護管理研究				○	○	
	臨床看護教育研究	○				○	
	母性・助産看護ケア研究	○				○	
	臨床看護学専門演習	○				○	
	臨床看護学研究方法 I					○	○
臨床看護学研究方法 II					○	○	

令和3年度 看護学研究科博士前期課程 カリキュラムマップ

区分	ディプロマ・ポリシー & 学修成果指標 ○＝学修成果の修得のために重要な科目 ○は科目ごとに2～3個つけてください	【DP1】個人―家族―地域を多角的、複眼的視点で捉え、看護専門領域に関する理論、関連領域の知識・技術、高い倫理観を基盤として、エビデンスに基づく高度な看護ができる能力を有している。	【DP2】地域社会や生活環境の中で、人々が自立して健康生活を営むことができるように、地域の人々と協働して、健康を促進する地域文化の形成、発展に貢献する能力を有している	【DP3】社会のニーズや健康に関する課題に積極的に関与し、他の職種の専門性を尊重した上で協働しながら社会状況に対応する方略を開発する能力を有している	【DP4】学際的視点をふまえて看護実践の場、教育や政策の場で看護現象を研究的視点でとらえ、倫理的思考力、リーダーシップとマネジメント力を発揮して変革者として貢献する能力を有している	【DP5】看護実践を支える科学的・哲学的基盤を理解し、看護研究・看護教育を通して、看護学の体系化とその発展に貢献できる教育―研究能力を有している	【DP6】国際的動向や多様な文化に関する幅広い知識や最新の情報を備えて、看護をグローバルな視点から捉え、看護の普遍性の追及と体系化に貢献できる能力を有している
地域保健学領域	地域ケア研究	○	○				
	学校保健研究	○				○	
	家族ケア研究	○				○	
	在宅ケア研究	○	○				
	災害・国際看護ケア研究	○	○				
	保健学研究				○		
	地域保健学専門演習					○	
	地域保健学研究方法 I					○	○
地域保健学研究方法 II					○	○	